

りんご・西洋なしの摘花・摘果に注意!

4月9日早朝の低温・降霜で、

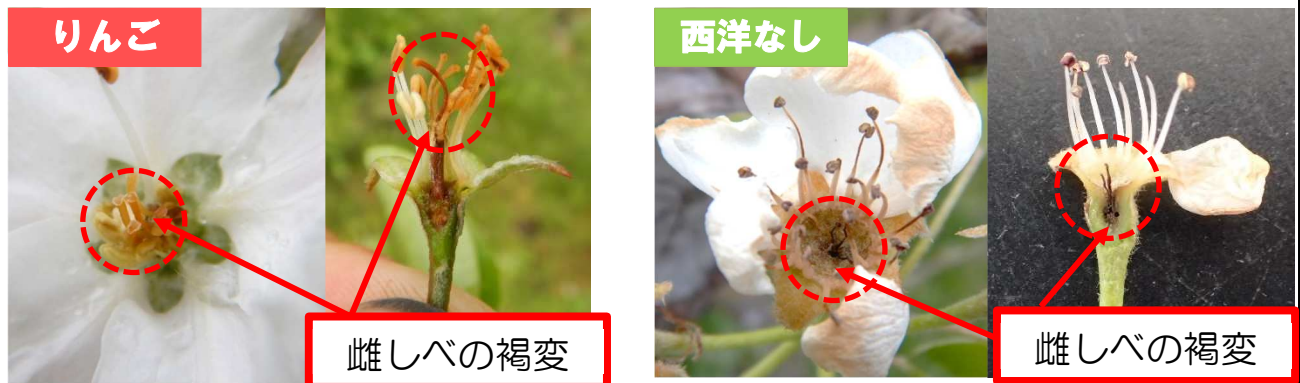
園地間差大!

りんご・西洋なしの雌しべが枯死しています!

◆雌しべの枯死の発生は、園地間差が大きいいため、「摘花作業前に」、被害状況をまず確認し、被害が見られる場合は摘果で対応しましょう

1 まずは、自分の園地の被害を確認

【被害の確認方法】花をカッター等で縦に割り、内部を確認する。



2 被害程度に合わせた着果管理を実施

りんご

◆中心花の雌しべの枯死が多い場合

→ 基本的に摘花は実施しない。**実止まりが確定してから摘果する**

◆中心花の雌しべの枯死がみられるが少ない場合

→ 果実を成らせない「発育枝先端の花」や「えき花」は摘花
※花数が少ない場合は、摘花は行わないで、摘果で対応

→ 中心花が使えない場合は、**花が大きくて被害のない側花を残す**

◆被害がみられる場合

→ **摘花剤の使用を控える**

→ 霜によるサビ果の発生も懸念されるため、**通常より多めに残す**

→ サビの発生や程度が判断できるようになってから着果量を調節

西洋なし

→ 被害が大きい場合は、**摘花を中止し、実止まりが確定してから摘果する**

→ 被害が少なく一輪摘花作業を実施する場合は、**雌しべが褐変（黒変）している花は残さない**

→ 果実を成らせない「発育枝先端の花」や「えき花」は全摘花

→ 甚大なサビ果の発生が懸念されるため**通常より多めに残す**